



2024年新春団結旗開きは中止です

新春福引抽選会行います！！

第2回分会長会議（11月17日）でも報告していましたが、来年2024年新春団結旗開きについては、今回も残念ではありますが中止する事にしました。尚、代替行事として行う「2024年新春福引大会」について詳細が決まりましたので以下をご覧ください。

福引抽選日は2024年1月上旬予定！！

<福引抽選について>

○福引賞品は3ブロックに分けて組合員数で按分して本数を振分けます。（詳細は下記表参照）
抽選は2024年1月上旬に執行委員会で抽選（PCにて抽選アプリ利用）を行います。

○1等・8本（11,000円相当グルメorカタログギフト）、2等・14本（8,500円相当グルメorカタログギフト）、3等・19本（5,500円相当グルメorカタログギフト）、4等・67本（3,500円相当グルメorカタログギフト）、5等・80本（商品券2,000円分）6等・100本（まめまめハウスセット1,000円分）、労金賞・3本、こくみん共済賞・3本、**総本数294本**

	1等	2等	3等	4等	労金賞	こくみん共済賞	5等	6等
中通総合病院	5本	8本	10本	40本	1本	1本	45本	55本
リハビリ、秋田市内各院所	2本	4本	6本	20本	1本	1本	25本	30本
大曲各院所	1本	2本	3本	7本	1本	1本	10本	15本
合計	8本	14本	19本	67本	3本	3本	80本	100本

●労金（PCA引去り）を利用している方の、年末一時金引去り分は、12月給与分と一緒に12月28日（木）に引去りとなります。残高の確認よろしくお願ひします。（お問合せは、組合まで内線813番）

●医労連共済「火災共済加入者」の方で、火災・雪害・雷被害等にあった場合は、必ず被害状況の写真を撮るようお願いします。

●年末年始事故連絡について ※事故受付のみの対応です。

火災受付：03-3366-7908（住宅災害損害センター） 一般業務は行いません。

自動車共済：0120-246-250（東北自動車共済）

お知らせ

日本医労連「2024春闘討論集会」が12月5日～6日、ふくしま磐梯熱海温泉で開催され、全体で150人（秋田県医労連7人）、中通病院労組から伊藤信行書記長、永井良さん・大曲ショート分会の2人が参加しました。永井さんの感想文を紹介します。



大曲中通病院 ショートステイ分会 永井良
毎日新聞記者の東海林智氏から『24春闘で大幅な賃上げを勝ち取るために』とのテーマで講演が行われた。その中で、コロナ禍において非正規雇用形態で働いている方々がどれほど困窮した状態になっただけかを知った。特にシングルマザーの方がコロナ禍で収入が激減し小学校に入学したばかりの娘と心中を計画していた話では、東海林氏も取材当時の事を思い出しているのか、涙を堪えながら語っていた。その様子に当事者ではないが胸が傷んだ。そして、そういった困窮が今話題となっ

ている間バイトにも繋がっているという。間バイト関連の取材を行った相手の中には70代の高齢者もいたというのだから驚きだ。コロナ禍は明けたいとはいえず、完全に元に戻っている訳ではなく、物価の上昇にも歯止めが利かない現状。最低賃金の大幅な引き上げを求めるのは当然のことだと思えた。また、そうこうして西武の労働組合が行ったストライキに関する話、秋田県にも西武があり、海外の投資ファンドに売却されるとニュースでは知っていたが、その裏でストライキも決行した激しい団体交渉が行われていたことは恥ずかしながら全く知らなかった。思えば、自分達が働いている会社が売却されることになり詳細が知らされないまま話が進んでいくということには不安や恐怖以外の何物でもない。知りたいと思うのは当然のことだと思ふ。その為に戦い抜いたところ、西武の労働組合は本当に凄いと感じた。この講演を聞いただけで、いかに自分がそういったニュースに興味無く過ごしてしまっていたかを考えさせられた。

次に日本医労連の24春闘に関する構想案が森田書記長より提案された。昨今の情勢や岸田内閣の動きについての説明はとも分りやすかった。そして主要国の中で日本の最低賃金が最も低いことを知ってちよつと泣きたくなかった。また、介護職として働く自分としては夜勤の改善については大いに賛成したい。長時間かつワンオへの夜勤は肉体的にも精神的にもきつい。施設の利用者や自分自身が健康的に働き続ける為にも夜勤の改善は必須になってくると思つた。

講演が終わると各部屋に別れての分散会となった。自分が参加した分散会では、各県の組合の書記長や執行委員長といった方が多く参加され、内心凄くドキドキしていた。個人的に人が苦手なので自己紹介一つでも緊張した。2日間かけた分散会の中で、自分は積極的に発言出来なかったが、皆さんの報告や話を聞いて、皆さんの不足と低賃金といった共通の問題を抱えている事がわかった。また、組合員の学習の必要性。いかに学んでもらうかが大事である事を知った。ある県では学習のZOOMを利用している事や、今の時代合った方法だと思つた。今回、春闘討論集会に参加して、自分がいかに無知であったかを感じた。組合員でありながら日々の仕事の忙しさにかまけて知らずともしてしまっていた。これからは忙しいかもしれないが、少し立ち止まり視野を広げられたらと思う。そして、こうして対面で討論を行う場というのは、リモートでは感じられない空気や熱気のようなものを感じた。このような貴重な場に参加させていただきありがとうございます。

